

平成 23 年 10 月 4 日

地域協議会委員との意見交換会

資 料 3

公の施設の再配置評価基準

(案)

平成 23 年 10 月

上 越 市

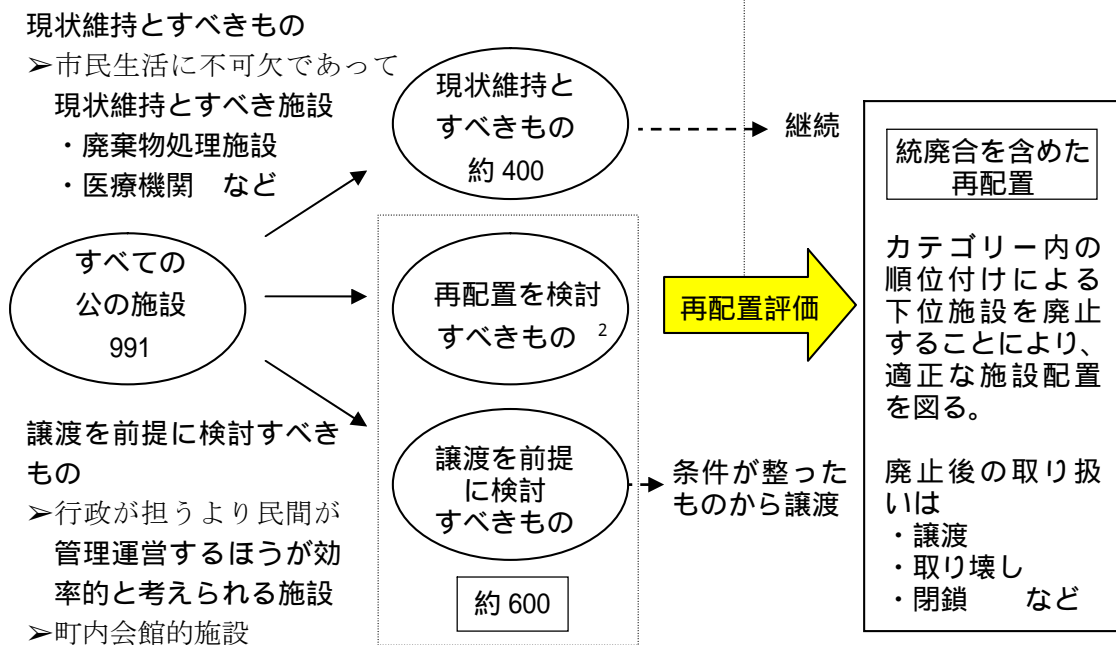
1 公の施設の再配置検討イメージ等

再配置評価
 同じ種類の施設どうし(施設カテゴリー¹)で、評価項目に基づく点数化を行い、その合計点数で順位付けを行う。

【評価項目】

- 安全・安心 ... 災害時などにおいて利用者の安全・安心を確保できるか
- 市民ニーズ ... 利用実績や利用動向から見て市民ニーズに合致しているか
- 機能集約 ... 近くに同じような施設があり集約が可能ではないか
- 収支・コスト ... 公の施設とはいえ維持管理経費が過大ではないか

再配置とは...
 公の施設の廃止、新規施設等への統合なども含めた施設の適正な配置を行うことをいう。



1 施設カテゴリー例

| | | | |
|----------|----------------|-------------|-------------|
| 生涯学習センター | スポーツ施設(テニスコート) | スポーツ施設(体育館) | スポーツ施設(プール) |
| キャンプ場 | 有料駐車場 | グループハウス | 介護予防拠点施設 |
| 地区集会施設 | 公民館 | 図書館 | デイサービスセンター |
| こどもの家 | 温浴施設 | 保健センター | など |

2 再配置を検討すべきもののうち、外部検討機関を設置し適正配置を検討している小学校、中学校や、既に所管部局を中心に検討を進めている保育園などについては、それぞれの検討方針に基づき再配置を進めることとする。

2 公の施設の再配置評価基準について

(1)基本的な考え方

公の施設に関する主な課題・問題点としては次のようなものが挙げられる。

- ・老朽化が進んでいる、あるいは耐震強度を満たしていないなど、災害発生時などにおいて利用者の安全・安心を十分に確保することが困難な施設がある。
- ・より設備が充実している民間施設ができた、既に施設として陳腐化してしまった等の理由により、利用者が極端に少ない、あるいは年々利用者が減少傾向にあるなど、市民ニーズにあわなくなっていると考えられる施設がある。
- ・近距離に複数の施設が隣接していて、しかも同じ種類の施設である、あるいは種類は違うが一方の施設の機能を他方の施設で代替できるなど、機能を集約し施設数を減らすことができると考えられる施設がある。
- ・公の施設とはいえ使用料金収入を大きく上回る維持管理経費がかかっている、あるいは利用者一人当たりの維持管理経費が過大であるなど、収支・コストの面で問題のある施設がある。



上記の課題・問題点を踏まえ、次の4つの評価項目

| | | | |
|-------|-------|------|--------|
| 安全・安心 | 市民ニーズ | 機能集約 | 収支・コスト |
|-------|-------|------|--------|

を設定し、同じ種類の施設どうし（施設カテゴリー）で評価項目に基づく点数化を行いその合計点数で順位付けを行う。

そこで下位に位置付けられた施設については原則として廃止することにより、適正な施設配置を実現する。

なお、廃止とは「公の施設ではなくすること」であり、施設サービスを停止することである。その後、施設をどうするかということについては、

- 施設の引受先がある場合 譲渡
- そのままにしておくと危険、又は施設敷地の売却が見込まれる場合 取り壊し
- 上記以外の場合 閉鎖

などケースバイケースで対応することとする。

また、必要に応じて、管理形態の見直し（直営温浴施設への指定管理者制度導入等）施設の用途変更（観光目的施設から福祉目的施設への変更等）、休館日・利用時間の見直し（通年開館から冬季休館への変更等）など、施設経営改善のための取組を行うこととする。

(2)具体的な評価基準

(全施設カテゴリー共通事項)

- ・評価項目ごとに評価基準を設定し、各評価基準の配点パターンについては、

ア ... 1点から10点までの10段階

例) 建設からの経過年数 長(1点) ←→ 短(10点)

利用者数 少(1点) ←→ 多(10点)

イ ... 0点か10点かの2段階

ウ ... 1点・4点・6点・10点の4段階 の3通りとする。

| 評価項目 | 評価基準 | 評価基準の考え方 | | 配点 |
|--------|--------|-----------------------------|---------------------------------|----------------|
| 安全・安心 | 老朽化の程度 | 建設からの経過年数 | | 1点から10点までの10段階 |
| | 耐震強度 | 耐震基準の適否 | 基準を満たしている | 10点 |
| | | | 基準を満たしていない | 0点 |
| 市民ニーズ | 利用実績 | 直近3か年平均の利用者数 | | 1点から10点までの10段階 |
| | 利用動向 | 直近3か年の利用者数推移 | H22 > H21 > H20 | 10点 |
| | | | H22 > H21 H21 < H20 | 6点 |
| | | | H22 < H21 H21 > H20 | 4点 |
| | | | H22 < H21 < H20 | 1点 |
| 機能集約 | 隣接状況 | 同じカテゴリー施設の隣接状況 | 同一区内等 ¹ に同じカテゴリー施設なし | 10点 |
| | | | 同一区内等 ¹ に同じカテゴリー施設あり | 0点 |
| | 代替施設 | 他カテゴリーの施設の機能代替 ² | 代替施設なし | 10点 |
| | | | 代替施設あり | 0点 |
| 収支・コスト | 施設収支 | 直近3か年平均の使用料金収入/維持管理経費 | | 1点から10点までの10段階 |
| | 公費負担 | 直近3か年平均の利用者1人当たり公費負担額 | | 1点から10点までの10段階 |
| | 大規模修繕等 | 大規模修繕等によるコスト増加要因 | | 1点から10点までの10段階 |

1 隣接の範囲は施設カテゴリーの状況に応じて設定する。(半径5km以内など)

2 例) 公民館分館の代わりに近くにある生涯学習センターを利用できる場合 等

(施設カテゴリーの現状及び課題による加点事項)

- ・施設カテゴリーごとにそれぞれの現状及び課題を踏まえて、特に評価において重視すべき基準については重要配点評価基準として配点点数(満点)を他の評価基準の倍の20点とする。

(参考) 施設カテゴリーと配点(重要配点評価基準)の考え方について

配点例 ... 生涯学習センター

- ・元は廃校した小学校であり耐震強度を満たしていない施設がある。
安全・安心(耐震強度)を重要配点評価基準に設定
- ・同一区内に複数の施設がある。
- ・現状の利用状況では近隣にある公民館分館などに機能を移転することが可能である。
機能集約(隣接状況、代替施設)を重要配点評価基準に設定

| 評価項目 | 評価基準 | 重要配点評価基準 | 配点 |
|--------|--------|----------|------|
| 安全・安心 | 老朽化の程度 | | 10点 |
| | 耐震強度 | | 20点 |
| 市民ニーズ | 利用実績 | | 10点 |
| | 利用動向 | | 10点 |
| 機能集約 | 隣接状況 | | 20点 |
| | 代替施設 | | 20点 |
| 収支・コスト | 施設収支 | | 10点 |
| | 公費負担 | | 10点 |
| | 大規模修繕等 | | 10点 |
| 計 | | | 120点 |

配点例 ... キャンプ場

- ・施設としての魅力が薄れ利用者数が低迷しているキャンプ場がある。
市民ニーズ(利用実績)を重要配点評価基準に設定
- ・施設により利用者数に大きな開きがあるため公費負担にも格差がある。
収支・コスト(公費負担)を重要配点評価基準に設定

| 評価項目 | 評価基準 | 重要配点評価基準 | 配点 |
|--------|--------|----------|------|
| 安全・安心 | 老朽化の程度 | | 10点 |
| | 耐震強度 | | 10点 |
| 市民ニーズ | 利用実績 | | 20点 |
| | 利用動向 | | 10点 |
| 機能集約 | 隣接状況 | | 10点 |
| | 代替施設 | | 10点 |
| 収支・コスト | 施設収支 | | 10点 |
| | 公費負担 | | 20点 |
| | 大規模修繕等 | | 10点 |
| 計 | | | 110点 |